

「板橋区特別支援教育推進指針」の策定について

1 趣旨

特別支援教育については、「いたばし学び支援プラン 2025」「いたばし子ども未来応援宣言 2025 実施計画 2025」「板橋区障がい者計画 2030」にて、関連事業が取り上げられ、その推進に取り組んでいるところ、3計画に分散して掲載されているため、一覧性に欠ける面がある。折しも、「板橋区障がい者計画 2030」にて「インクルーシブ教育システム構築の推進」に取り組むものとされ、また、「いたばし学び支援プラン 2025」にて「特別支援教育に関する理解啓発」を図るとされていることを踏まえ、特別支援教育に係る上記各行政計画のいわば補足編として、「板橋区特別支援教育推進指針」を策定し、インクルーシブ教育システムの視点から整理し説明を補充して、その理解を深めるとともに、同システム構築のための基礎とする。

いたばし学び支援プラン 2025		板橋区障がい者計画 2030	
No 17	事業名 特別支援教育に関する理解・啓発	No 52	事業名 インクルーシブ教育システム構築の推進
担当部署	指導室	担当部署	指導室
取組における視点 特別な支援を必要とする児童・生徒が通常学級においても等しく豊かな教育を受けられるように、インクルーシブな視点に立った児童・生徒理解のために教員が活用できる資料の作成を行い、教員の指導力向上を図るとともに、保護者への理解啓発を図ります。		事業概要 特別支援教育に関する通常の学級の専門性を高めるとともに、特別な支援を必要とする児童生徒に対して適切なアセスメントに基づく指導を実施することなどを通じ、できる限り通常の学級で学べることを追求しつつ、個別の教育的ニーズに応えられる多様な学びの場を選択できる体制の構築に取り組みます。	

板橋区特別支援教育推進指針

- ・インクルーシブ教育システムの考え方を紹介
- ・既存の行政計画から特別支援教育に関連する事業を抽出し、インクルーシブ教育システムの視点から、その内容を整理・補充
- ➡特別な支援を必要とする児童・生徒の存在やその支援のあり方等について、理解を深めるとともに、これを実践していくことでインクルーシブ教育システム構築の基礎とする。

2 内容

特別支援教育を巡る現状を概観することで、インクルーシブ教育システムの考え方を紹介した上で、区の行政計画に掲載されている特別支援教育に関連する事業について、インクルーシブ教育システムの視点から整理し、その内容を補充する。

第1章 指針の趣旨及び方針

第2章 特別支援教育を巡る現状

概ね次のトピックについて紹介

- ・特殊教育から特別支援教育へ
通常の学級の児童・生徒も、その対象であることを示す
- ・インクルーシブ教育システムの構築
障がいのある者となない者が共に学ぶ仕組みについて示す
- ・連続性のある多様な学びの場
教育的ニーズに即した学びの場を選択・変更できることを示す
- ・教職員の専門性の向上
インクルーシブ教育システム構築には教職員の専門性の向上が大切であることを示す
- ・都計画
インクルーシブ教育システムを巡る都計画の概要を示す

第3章 板橋区の取組

特別支援教育関連事業について次のとおり整理・補充

- 視点1 最適な学びの選択**
就学・移行期の学びの場の選択の視点から補充
- 視点2 関係者一丸となった学びの応援**
教職員の専門性の向上を含む体制整備の視点から補充
- 視点3 切れ目のない学びの提供**
教育的ニーズに即した学びの提供等の視点から補充

資料編

関連分野の取組(障害児通所支援などの概要紹介
通常の学級における特別支援教育 など

行政計画



板橋区障がい者計画 2030

→相談支援体制の充実 etc



いたばし学び支援プラン 2025

→特別支援学級・特別支援教室等の専門性の向上 特別支援学級の設置 etc



いたばし子ども未来応援宣言 2025

→障がいのある子どもも、障がいのない子どもも、ともに学び・成長できる etc

関連事業

特別支援教育相談の実施

教育相談の充実

専門部会(障がい児)を活用した連携体制の強化

インクルーシブ教育システム構築の推進

特別支援アドバイザーの配置

学校生活支援員の配置

スクールソーシャルワーカーによる支援

スクールカウンセラーの配置

臨床心理士による幼稚園巡回相談事業

あいキッズにおける要支援児巡回指導

要支援児受入推進補助

医療的ケア児の受入環境充実

特別支援学級・特別支援教室等の専門性の向上

ICT環境の適切な維持と活用

特別支援学級の運営

特別支援教室ほか通級による指導の運営

天津わかしお学校の運営

特別支援教育就学奨励費

あいキッズにおける要支援児受入

副籍制度の活用

特別支援教育に関する理解啓発

関連事業を巡る動向

●就学・移行に関して

就学相談(小・中就学時)



・就学相談件数の増加と相談ニーズの高まり
・就学前機関→小学校→中学校→進路先の各移行期における支援のつなぎ など

●専門性向上を含む体制整備に関して



・要支援児童・生徒の増加等に伴う教職員の専門性の向上の必要
・多様な職種の人材の存在と、これらの体系的活用・連携の必要
・教育的ニーズの多様化に伴う適切なアセスメントの必要 など

●教育的ニーズに応じた学び・理解啓発に関して

発達障がいに係る困・学校生活での困りごと(複数回答可)



・児童・生徒の自立と社会参加に向けた主体的な取組の必要
・児童・生徒のニーズに即した多様で柔軟な学びの場の用意
・個別最適な学び・協働的な学びの推進
・障がいに対する理解の促進 など

関連事業の取組の視点

視点1 最適な学びの選択

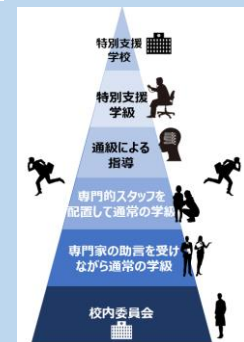
- えらぶ
学びの選択のサポート
教育的ニーズの把握 など
- つなぐ
連携に向けた情報の活用
交流エリアの取組の充実 など



交流エリアでの交流の様子

視点2 関係者一丸となった学びの応援

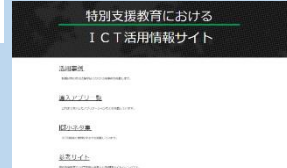
- レベルアップ
専門性の向上 など
- システム
人材の体系的活用
環境への働きかけ など
- ネットワーク
連携型個別指導計画の活用
関連事業の理解促進 など
- アセスメント
専門的知見の活用 など



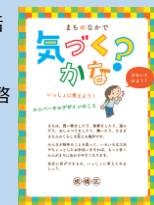
人材の体系的活用イメージ

視点3 切れ目のない学びの提供

- きめる
学校生活支援シートの活用 など
- まなぶ
通常の学級
特別支援学級 など
- わかる・つたえる
ICT支援員の活用 など
- わかりあう・ささえあう
障がい者理解促進事業の活用 など



上図: ICT活用情報サイト
右図: 普及啓発リーフレット



抽出

整理

補充